

別紙標準様式（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回枚方市学校規模等適正化審議会
開 催 日 時	平成26年7月17日（木） 15時00分から 16時45分まで
開 催 場 所	市役所 別館4階 第2委員会室
出 席 者	上山芳明委員、大畑尚美委員、岡澤潤次委員、神田裕史委員、 小原寿三委員、島善信委員、津浦啓子委員、林文子委員、 水嶋忠雄委員、光山奈美子委員、宮原保子委員、森崎武史委員
欠 席 者	酒井恵子委員、田窪美葉委員
案 件 名	・ 正副会長選出 ・ 諮問 議事案件 （1）枚方市立小中学校の現状と将来予測 （2）その他
提出された資料等の 名 称	①審議会委員名簿 ②事務局名簿 ③枚方市附属機関条例 ④会議傍聴の取り決め事項 ⑤今後のスケジュール （別冊）参考資料集 （別冊）平成23年11月枚方市学校規模等 適正化審議会答申 （別冊）平成26年度枚方市学校規模等適正 化実施プラン（別冊）枚方市学校規模等適正化基本方針 （別冊）校区地図
決 定 事 項	・ 会長に岡澤潤次委員及び副会長に小原寿三委員、島善信委員の 2名を選出した。 ・ 枚方市立小中学校の現状と将来予測について、共通理解を 図った。
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表 の別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者 の 数	なし
所 管 部 署 （ 事 務 局 ）	教育委員会事務局 管理部 学校規模調整課

審 議 内 容

<議事進行概要>

- 事務局から委員12名が出席しているため、審議会が成立しているとの報告を受けた。
- 村橋教育長のあいさつ後、審議会委員及び事務局職員の紹介を受けた。
- 枚方市附属機関条例第4条第1項の規定に基づき互選した結果、審議会会長に岡澤委員、副会長に小原委員、島委員をそれぞれ選出した。

<諮問>

- ①会長が教育委員会から諮問書を受け取った。
- ②事務局から諮問の趣旨説明を受けた。

<審議会の運営事項について>

事務局から審議会の運営事項について説明を受け、「会議傍聴の取り決め事項」及び「会議録の作成公表」について承認した。

<議事内容>

(1) 枚方市立小中学校の現状と将来予測

- 事務局から、枚方市立小中学校の現状と将来予測について、資料に基づく説明を受けた。

委員 参考資料4の「児童数、生徒数、学校数、学級数の推移」においては、学級数には支援学級を含まないとありますが、児童数等には支援学級に在籍する児童生徒を含んでいると判断してよろしいですか。

事務局 含んでいます。

委員 今後、児童生徒数の減少により小規模校が増加する見込みとのことですが、小規模校になると具体的にどのような支障が生じると予測されるのですか。

事務局 お配りしている第三次審議会の「答申」27ページ上段に、小規模校のメリット、デメリットを表にしています。デメリットとしましては、交友関係が限定されやすく、多様な考え方に触れる機会が少なくなりがちであること、運動会など学校行事の盛り上がりには欠け学校全体に活気が出にくいこと、教職員の数が少ないため校務分掌等の負担が過重になりやすいこと、部活動の指導教職員が不足することなどがあげられます。

委員 今回の審議会では、45小学校すべてを対象にし、小規模校を統合するなどにより、適正な配置を検討すると考えてよいのですか。

事務局 小規模校の解消につきましては、「通学区域の変更または学校統合による」としているところですが、今回の審議会では、手法が色々ある中でこのような場合には学校統合を行う、このような場合には通学区域の変更を行うなど、ケースによって取るべき手法を審議いただければと考えています。

審 議 内 容

委 員 学校施設の老朽化、経年劣化による建替えなどの課題もあげられていますが、学校統合にあたって、新校舎に建替えることなども考慮するのですか。

事務局 学校施設の老朽化対策につきましては、現在、庁内で検討委員会を立ち上げ、検討しています。昨年3月に文部科学省から老朽化対策ビジョンとしまして長寿命化改修という考え方が出されました。今後この手法を中心に施設の更新を検討する必要があると考えています。

なお、学校施設の整備にあたっては、学校の将来的な適正配置と整合性を図っていきたいと考えています。

委 員 この審議会で、学校施設の整備についても検討するのですか。

事務局 審議会においては学校配置のあり方についてご審議いただきたいと考えています。学校施設の整備計画については、配置計画と整合した上で庁内で検討したいと考えています。

会 長 枚方市は、いち早く学校施設の耐震化を完了されていると聞いていますが、耐震化工事との関係について教えてください。

事務局 小中学校の耐震化は完了していますが、これは、いつ起きるか予測できない大震災に対応するためのものであり、耐震化工事が完了していることは、施設整備計画に影響を及ぼすことはないと考えています。

委 員 参考資料3「枚方市立小中学校施設規模等一覧表」の見方ですが、最上段の樟葉北小学校を例にとると、樟葉北小学校は普通教室を25教室、特別教室を6教室保有しており、平成26年度は、普通教室を支援学級に2教室、通常学級に12教室の14教室を使用していると見てよいのですか。

事務局 参考資料3の見方はそのとおりです。

委 員 参考資料7の「小規模校、過密校、大規模校の一覧表」にあげられている小中学校が、諮問理由にあった「学校運営に支障きたす学校」であって、これらの学校の適正化を検討することが、今回の審議会で方向性を定めていくことと考えてよいのですか。

事務局 これらの学校は具体的な課題校ではありますが、小規模校の中でもそれぞれ事情が異なります。学校の周辺環境や、児童生徒数の将来推移などが異なってきますので、このような要件に該当する場合は、このような適正化を図るべきである等の審議をいただければと考えています。

会 長 機械的に判断するのではない検討が必要だということですね。

事務局 参考資料7で現在の課題校をお示ししていますが、参考資料9「枚方市人口推計調査報告書」によりますと、今後枚方市の人口減少が予測され、少子化の影響によって児童生徒数の一層の減少が予測されます。そのため、参考資料7の課題校だけでなく、長期的なスパンで将来における本市の適正な学校配置についてご検討をいただければと考えています。

審 議 内 容

- 会 長 長期的なスパンで検討してほしいという事務局からの説明でした。
本日は、初めての審議会ですので、委員の皆様からそれぞれご意見をお聞かせ
いただきたいと思えます。
- 委 員 資料を見ると、小規模校と過密校の差が顕著であると思えます。過密校を解消す
るために、新しい学校を建設するという事は不可能だと思えますので、それを
どのように解消するのかを求められているのでしょうか。
- 事務局 過密校につきましては、通学区域の変更や、場合によっては校舎の増築を行うこ
とで、解消を図ることとしております。
- 委 員 参考資料8の「小中学校の接続関係」で、まだ「一小一中」になっていない小学
校が2校ありますが、平成26年度の実施プランにあがっていない「蹉跎小学校」は、
改善する予定があるのでしょうか。
- 事務局 蹉跎小学校の「一小一中」へ改善につきましては、前回の第三次審議会において、
「すべて第二中学校の通学区域とする」という方策を提言いただきましたが、第二
中学校の保有教室数では、蹉跎小学校の児童全てを受け入れることが不可能であ
り、また第二中学校が傾斜地に建設されているため、校舎の増築も不可能である
という状況です。そのため、第二中学校の改築などにより、受け入れが可能となつた
段階で改善したいと考えています。
- 会 長 現況がご理解いただけたかと思えます。
- 委 員 質問ではなく感想ですが、諮問事項の「将来における適正な配置等のあり方につ
いて」とは、漠然としていて、どのように考えていけばいいのかということと、
参考資料7によると小規模校が今後増加していくため、統廃合を考えなければい
けないのかもしれませんが、それが子どもたちにとってどうなのかという疑問が
あります。
また、私の小学校区は、数年前に「一小一中」に改善されましたが、現在も、
元の中学校に進学する子どもたちがいます。このような例は、他に「一小一中」の
改善を図った学校でも見られるのではないかと思います、それはどうなのかなど
という感想を持っています。
- 事務局 すでに兄弟が変更前の中学校に通学している場合や、新たな指定校がこれまでの
指定校よりも遠距離になるなどの理由がある場合は、「指定校変更」制度により、
通学区域の変更後6年間は、申し出により変更前の指定校に通学できることにし
ています。
- 委 員 昨年度から「一小一中」への改善で、山田小学校の児童がすべて中宮中学校に進
学することになりました。現在、中宮中学校と山田中学校の生徒数に大きな差が
あり、山田中学校の保護者の方からは、生徒数が少ないことによりクラブ活動に
支障が出ていると聞いています。生徒数の差が一番大きい時に、何か対策をとれ
ないのでしょうか。

審 議 内 容

事務局 中学校の適正な学校規模の範囲は、9学級以上24学級以下としています。山田中学校は現在7学級で小規模校ではありますが、将来的には適正規模の範囲になると予測しています。適正規模の範囲内であれば、適切な学校運営ができるものと考えています。

委員 今回の審議会では、諮問の「将来における適正な配置等のあり方について」について、「答申」までどのような議論をするのか、具体的な流れについて教えてください。

事務局 将来の学校規模等の適正化に向けた通学区域の変更や学校統合について、基本的な考え方をまとめていただければと考えています。また、適正化の具体的な方策、通学区域の変更や学校統合を行うべき要件や、その場合の留意事項等をご審議いただきたいと考えています。

本市の人口はこれから減少していきませんが、現在14%弱の割合を占める14歳以下の人口が、20年後からは10%強にしかありません。このような状況を勘案し、将来の適正な学校配置をご審議いただきたいと考えています。

会長 今後の進行の件でいろいろご提言もあるかと思いますが、長期的なスパンにおける人口減についても、単に数字の上だけで論議するのではなく、教育内容も含めて論議する必要があるという事務局のお考えだと思います。

委員 参考資料7を見て、小規模校になっているのは中部地区が多く、どのように校区変更を行ってもこの地域の小規模校解消は難しいと思います。

また、平成27年4月の入学生から、樟葉南小学校がすべて楠葉西中学校に変更されるとのことですが、楠葉面取町1丁目と2丁目はどう考えても招提北中学校の方が近く、保護者はそちらに通わせたいのではないですか。この地域から楠葉西中学校まではどれくらいの時間がかかるのでしょうか。

事務局 通学時間は約30分であると考えています。

委員 校区の中で平均通学時間はわかりますか。

事務局 学校が必ずしも校区の真ん中にあるとは限りませんので、校区における平均通学時間の調査は行ったことはありません。

委員 通学距離については、基準があるのではなかったでしょうか。

事務局 「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令」に定める基準は、小学校でおおむね4km以内、中学校でおおむね6km以内とされています。

委員 私が子どもの頃は、学校が遠くにしかなかったので仕方がないと思っていました。意識の問題だと思います。クラブ活動でも、多くの生徒がいないと十分活動できません。そのようなことを市民の方にもっとアピールすべきだと思います。

審 議 内 容

事務局 子どもたちの登下校についてご説明します。枚方市は、小学校は集団登校をしておりますので、すべての児童は徒歩で通学しています。中学校も同様に徒歩の通学としていますが、杉中学校については非常に遠いところから通学する生徒がいますので、バス通学の手続きをとってもらっています。

会 長 枚方市では、そのような配慮もあるということですね。

小規模校の課題につきましては、次回の審議会で論議していただくことにしまして、他に何かありませんでしょうか。

委 員 前回の第三次審議会でも出していただいた「通学区域制度の弾力的運用」の実態を資料として提出してください。

事務局 準備します。

委 員 何点かありますが、今おっしゃった「通学区域制度の弾力的運用」について、この審議会でも共通理解できる場を設定していただきたいと思います。その際には、先ほどの資料も提出してください。

それから、今後の審議会の流れについてです。今日は全体状況の共通理解を図る場であると考えますが、今後の流れとして、例えば参考資料7にあがっている小規模校、大規模校はすべて審議の対象となるのかどうかなど、大まかな流れについて事務局なりの考え方を示していただきたいと思います。

また、小規模校のメリット、デメリットについてですが、このことは、先ほど資料でも確認しましたとおり、前回の審議会でも十分議論しています。ですので、一から議論するのではなく、前回の議論はこうで問題点はこうだったということを示した上で、さらに議論を深めるべきだと考えます。

最後に通学区域を考えるにあたってですが、一つは今日も議論にあがっていましたが距離や子どもたちの体力について。もう一つは、通学上の安全確保のことで、行政責任で確保することも必要ですが、今日的な課題として地域としての安全確保という問題の立て方も必要ではないでしょうか。以上4点です。

会 長 論点をわかりやすくまとめていただきました。

事務局 ただいまのご意見を踏まえて、次回開催させていただきます。

会 長 それでは、案件（2）その他について、事務局お願いします。

事務局 案件（2）ですが、今後のスケジュール等について説明いたします。

○事務局から今後のスケジュールについて説明を受けた。

審 議 内 容

会 長　ただいま事務局から、今後のスケジュール等についての説明がありましたが、質問等はありませんでしょうか。

　本日の審議会は、第1回目ということもあり、諮問の趣旨や枚方市立小中学校の現状と将来予測について説明を受けました。次回については、具体的な審議に入っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

　それでは、第1回の審議会をこれで閉会します。